

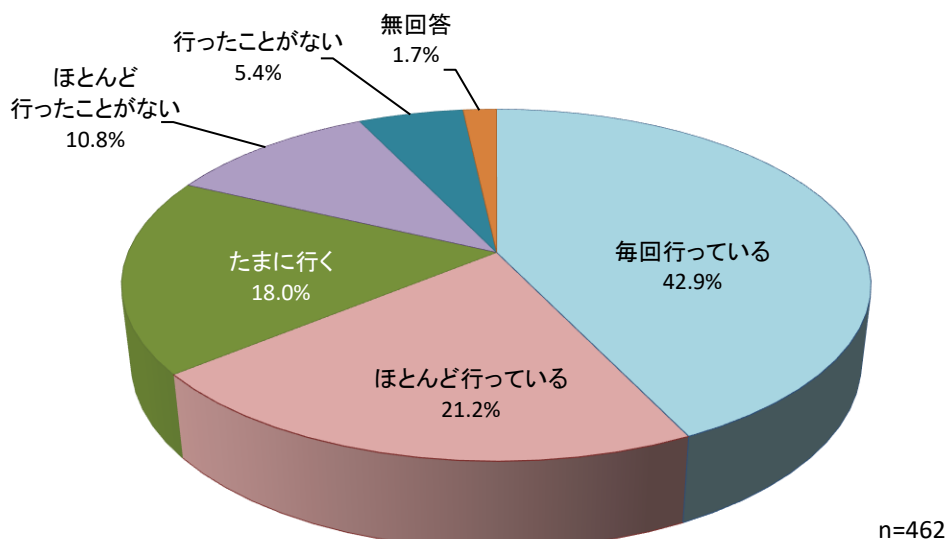
2 6. 選挙の投票率向上に向けた取組について

(1) 最近の選挙について投票に行っているか

◇「毎回行っている」が4割強

問 8 3 最近の選挙について、投票に行っていますか。		(○は1つ)
		n=462
1	毎回行っている	42.9%
2	ほとんど行っている	21.2%
3	たまに行く	18.0%
4	ほとんど行ったことがない	10.8%
5	行ったことがない	5.4%
	(無回答)	1.7%

<図Ⅳ－2 6－1>全体



最近の選挙について、投票に行っているかについては、「毎回行っている」が42.9%で最も高く、次いで「ほとんど行っている」が21.2%、「たまに行く」が18.0%と続いた。(図Ⅳ－2 6－1)

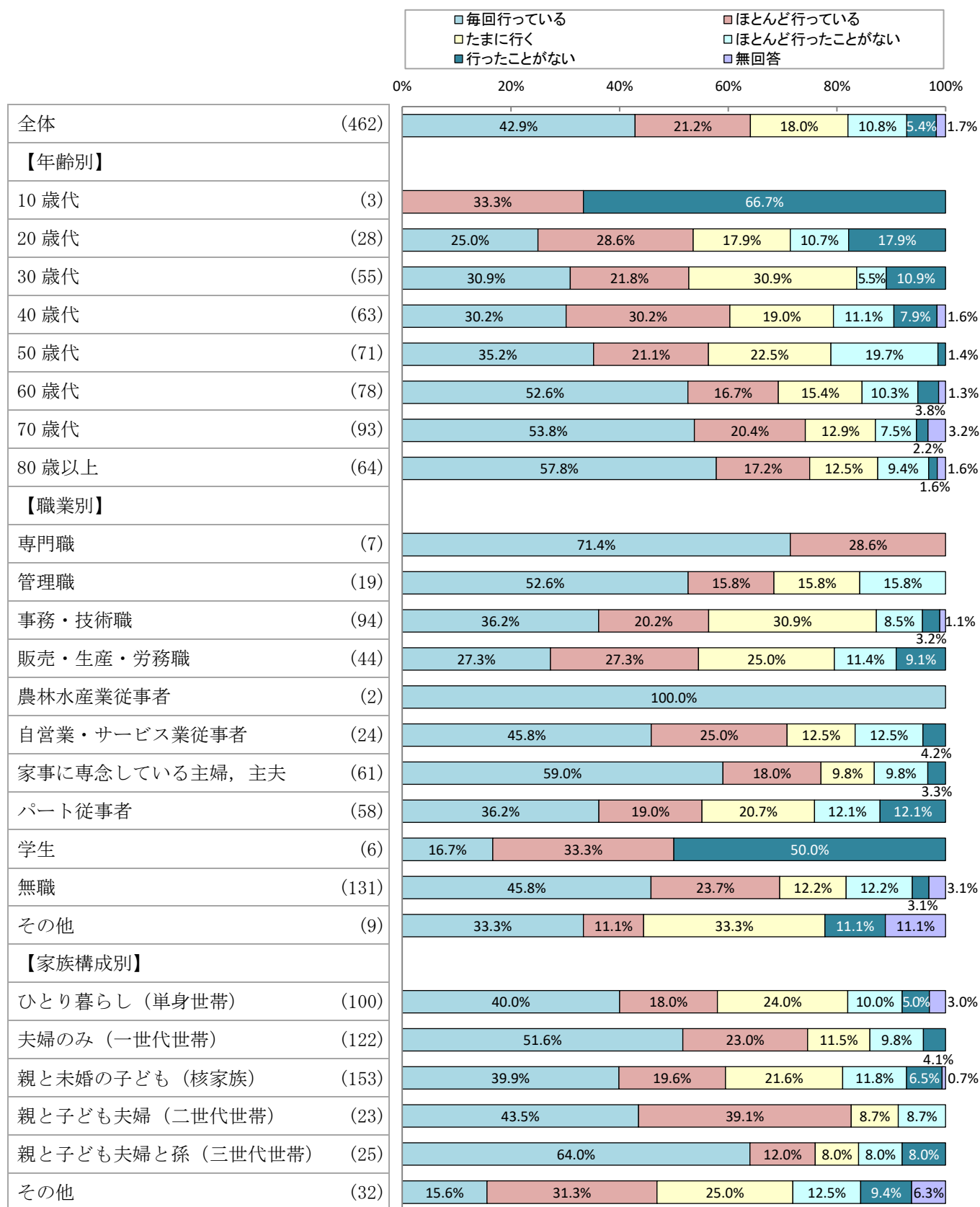
<参考>

年齢別でみると、「毎回行っている」は<80歳以上>が57.8%で最も高く、次いで<70歳代>が53.8%であった。一方、「行ったことがない」は<10歳代>が66.7%で最も高く、次いで<20歳代>が17.9%であった。(図Ⅳ－2 6－2)

職業別でみると、「毎回行っている」は<農林水産業従事者>が100.0%、<専門職>が71.4%であった。一方、「行ったことがない」は<学生>が50.0%で最も高く、次いで<パート従事者>が12.1%であった。(図Ⅳ－2 6－2)

家族構成別でみると、「毎回行っている」は<親と子ども夫婦と孫(三世帯世帯)>が64.0%で最も高く、次いで<夫婦のみ(一世帯世帯)>が51.6%であった。一方、「行ったことがない」は<その他>を除くと、<親と子ども夫婦と孫(三世帯世帯)>が8.0%で最も高く、次いで<親と未婚の子ども(核家族)>が6.5%であった。(図Ⅳ－2 6－2)

<図Ⅳ－２６－２>年齢別／職業別／家族構成別

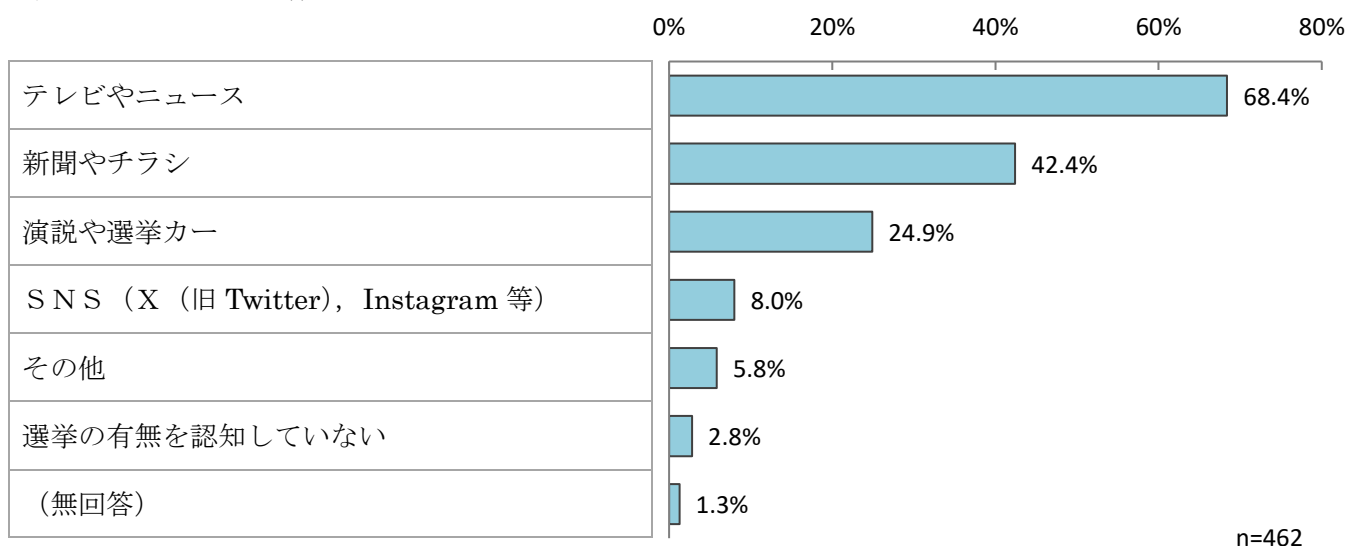


(2) 最近の選挙についてどのような方法で選挙の有無を認知しているか

◇「テレビやニュース」が7割弱

問 8 4 最近の選挙についてどのような方法で選挙の有無を認知していますか。 (○はいくつでも)		n=462
1	テレビやニュース	68.4%
2	新聞やチラシ	42.4%
3	演説や選挙カー	24.9%
4	S N S (X (旧 Twitter), Instagram 等)	8.0%
5	その他	5.8%
6	選挙の有無を認知していない	2.8%
	(無回答)	1.3%

<図IV-26-3>全体



最近の選挙についてどのような方法で選挙の有無を認知しているかについては、「テレビやニュース」が68.4%で最も高く、次いで「新聞やチラシ」が42.4%、「演説や選挙カー」が24.9%と続いた。

(図IV-26-3)

<参考>

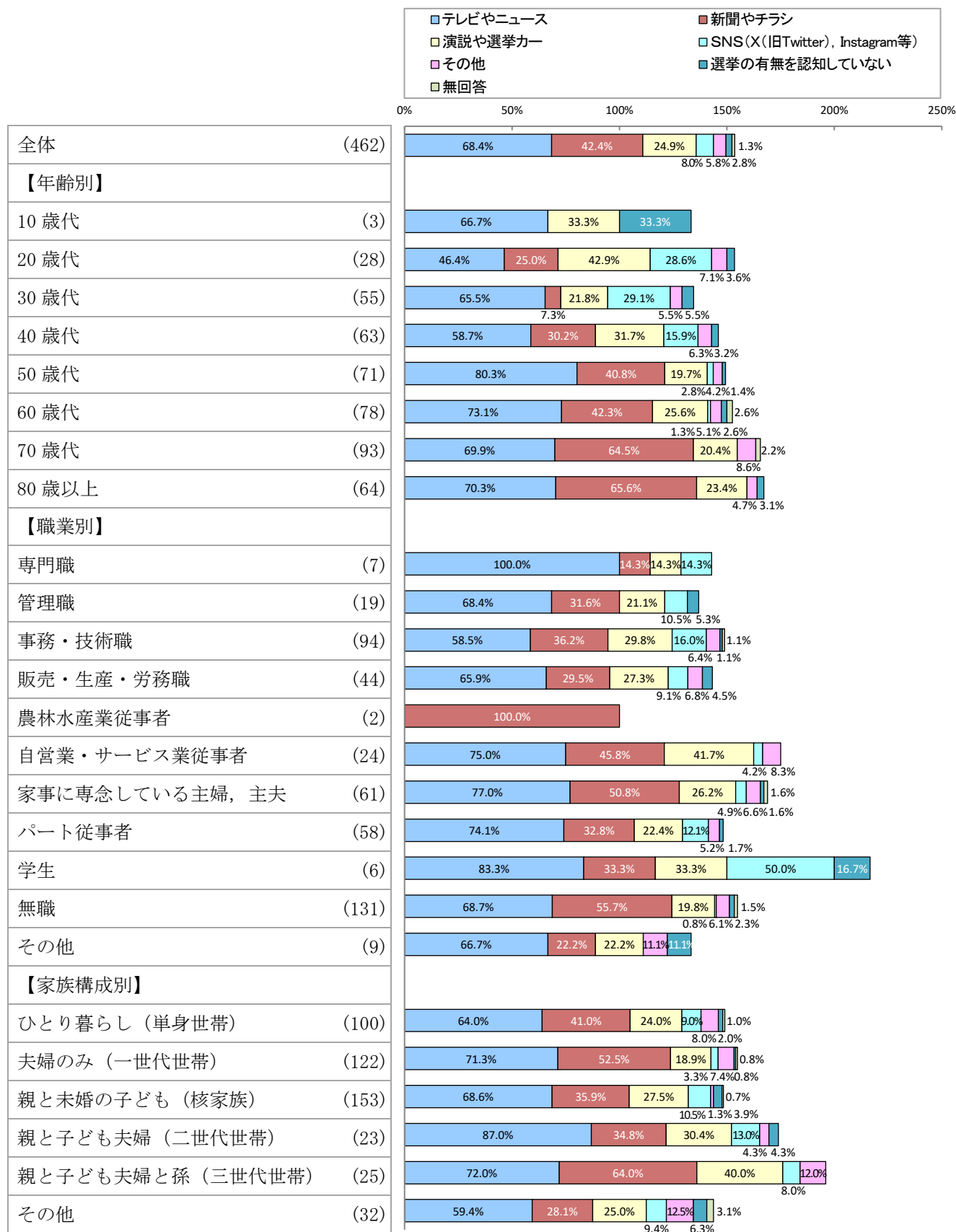
年齢別でみると、「テレビやニュース」は<50歳代>が80.3%で最も高く、次いで<60歳代>が73.1%であった。「新聞やチラシ」は<80歳以上>が65.6%で最も高く、次いで<70歳代>が64.5%であった。(図IV-26-4)

職業別でみると、「テレビやニュース」は<専門職>が100.0%、<学生>が83.3%であった。「新聞やチラシ」は<農林水産業従事者>が100.0%、<無職>が55.7%であった。(図IV-26-4)

家族構成別でみると、「テレビやニュース」は<親と子ども夫婦(二世帯世帯)>が87.0%で最も高く、次いで<親と子ども夫婦と孫(三世帯世帯)>が72.0%であった。「新聞やチラシ」は<親と子ども夫婦と孫(三世帯世帯)>が64.0%で最も高く、次いで<夫婦のみ(一世帯世帯)>が52.5%であった。

(図IV-26-4)

<図Ⅳ－２６－４>年齢別／職業別／家族構成別



(3) 昨年４月に執行した宇都宮市議会議員選挙の低投票率の理由

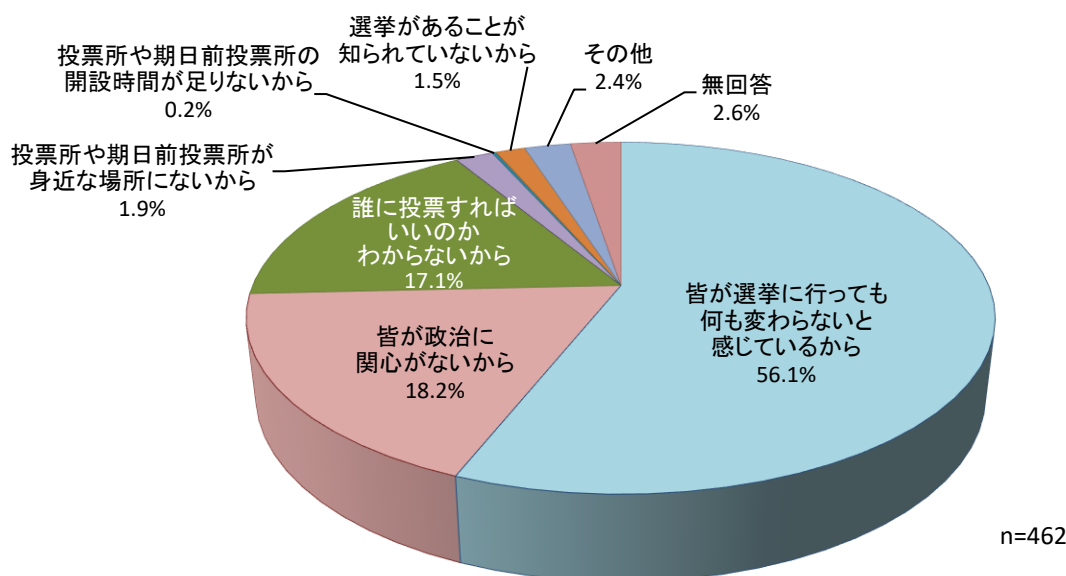
◇「皆が選挙に行っても何も変わらないと感じているから」が５割半ば

問 8 5 昨年４月に執行した宇都宮市議会議員選挙の投票率は過去最低であり、全国においても低投票率が課題となっていますが、どのようなことが理由であるとお考えですか。 (○は１つ)

n=462

1	皆が選挙に行っても何も変わらないと感じているから	56.1%
2	皆が政治に関心がないから	18.2%
3	誰に投票すればいいのかわからないから	17.1%
4	投票所や期日前投票所が身近な場所がないから	1.9%
5	投票所や期日前投票所の開設時間が足りないから	0.2%
6	選挙があることが知られていないから	1.5%
7	その他	2.4%
	(無回答)	2.6%

<図Ⅳ－２６－５>全体



昨年４月に執行した宇都宮市議会議員選挙の低投票率の理由については、「皆が選挙に行っても何も変わらないと感じているから」が 56.1%で最も高く、次いで「皆が政治に関心がないから」が 18.2%、「誰に投票すればいいのかわからないから」が 17.1%と続いた。(図Ⅳ－２６－５)

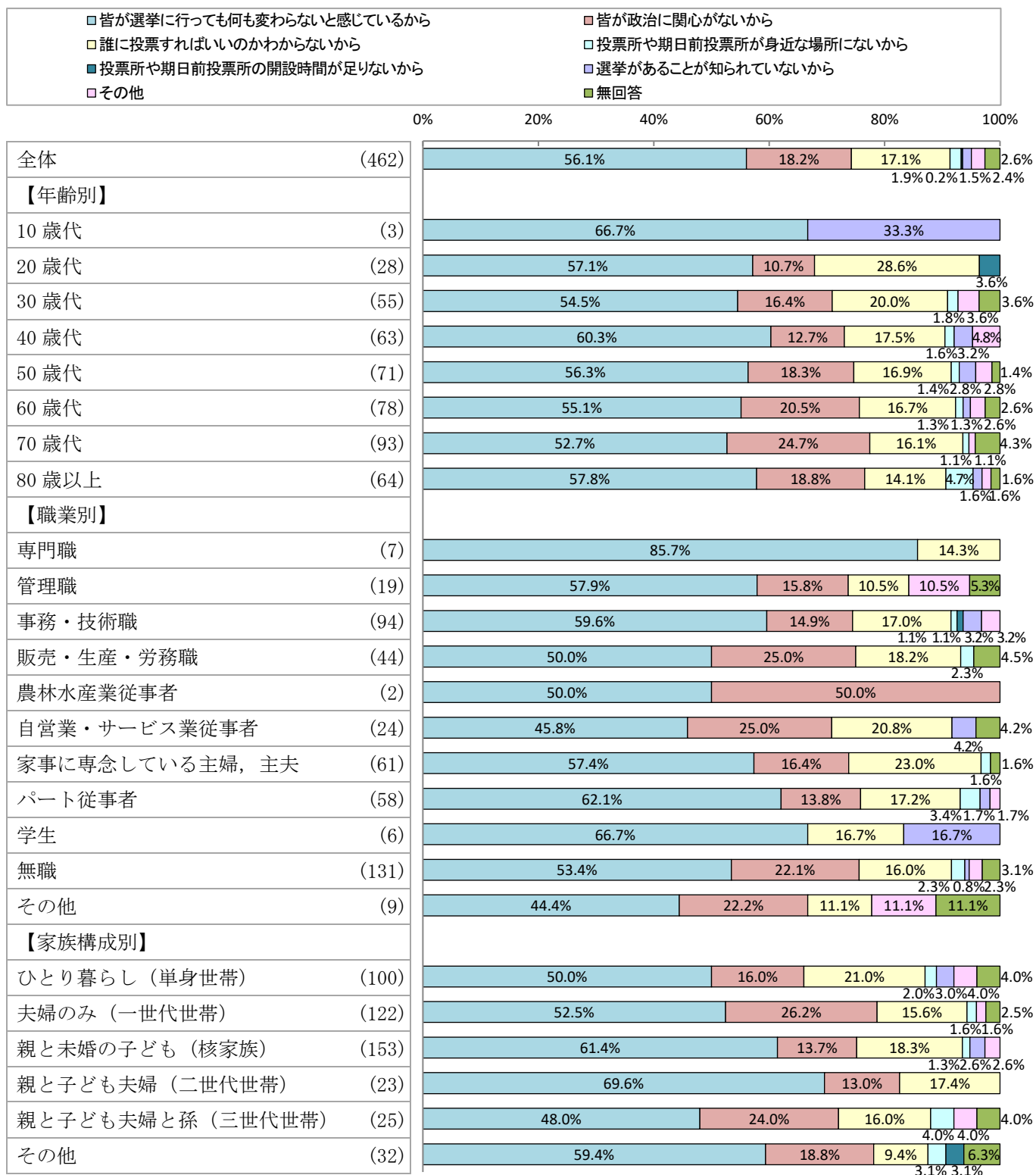
<参考>

年齢別でみると、「皆が選挙に行っても何も変わらないと感じているから」は<10歳代>が 66.7%で最も高く、次いで<40歳代>が 60.3%であった。「皆が政治に関心がないから」は<70歳代>が 24.7%で最も高く、次いで<60歳代>が 20.5%であった。(図Ⅳ－２６－６)

職業別でみると、「皆が選挙に行っても何も変わらないと感じているから」は<専門職>が 85.7%で最も高く、次いで<学生>が 66.7%であった。「皆が政治に関心がないから」は<農林水産業従事者>が 50.0%で最も高く、次いで<販売・生産・労務職><自営業・サービス業従事者>がいずれも 25.0%であった。(図Ⅳ－２６－６)

家族構成別でみると、「皆が選挙に行っても何も変わらないと感じているから」は<親と子ども夫婦(二世帯世帯)>が 69.6%で最も高く、次いで<親と未婚の子ども(核家族)>が 61.4%であった。「皆が政治に関心がないから」は<夫婦のみ(一世帯世帯)>が 26.2%で最も高く、次いで<親と子ども夫婦と孫(三世帯世帯)>が 24.0%であった。(図Ⅳ－２６－６)

<図Ⅳ－２６－６＞年齢別／職業別／家族構成別

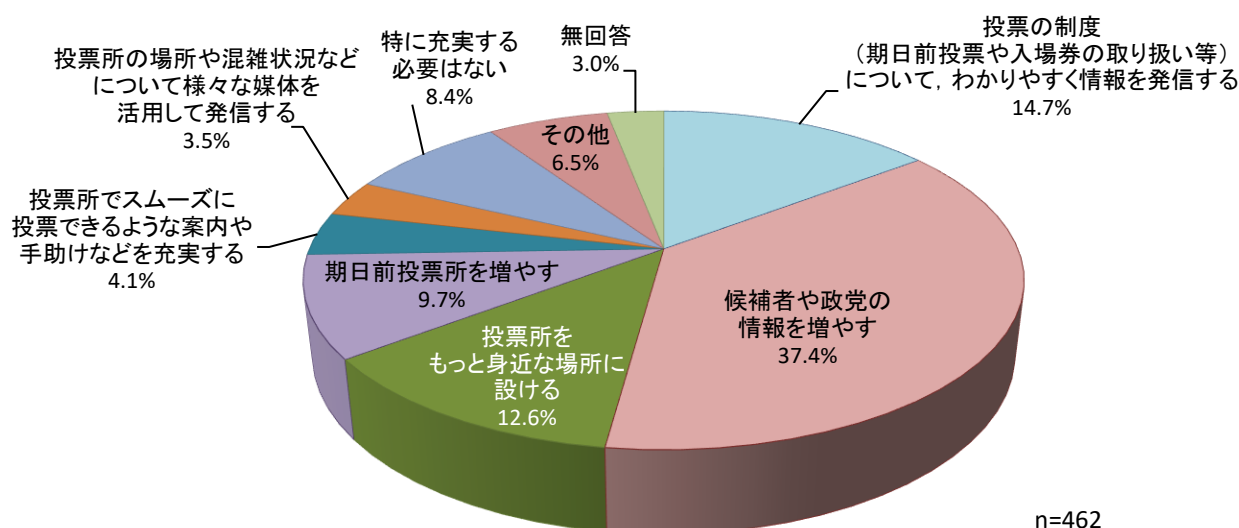


(4) 投票環境の充実を図るために必要な取組

◇「候補者や政党の情報を増やす」が4割弱

問 8 6 投票環境の充実を図るためにどのような取組が必要だと思いますか。(○は1つ)		
		n=462
1	投票の制度（期日前投票や入場券の取り扱い等）について、わかりやすく情報を発信する	14.7%
2	候補者や政党の情報を増やす	37.4%
3	投票所をもっと身近な場所に設ける	12.6%
4	期日前投票所を増やす	9.7%
5	投票所でスムーズに投票できるような案内や手助けなどを充実する	4.1%
6	投票所の場所や混雑状況などについて様々な媒体を活用して発信する	3.5%
7	特に充実する必要はない	8.4%
8	その他	6.5%
	(無回答)	3.0%

<図IV－26－7>全体



投票環境の充実を図るために必要な取組については、「候補者や政党の情報を増やす」が37.4%で最も高く、次いで「投票の制度（期日前投票や入場券の取り扱い等）について、わかりやすく情報を発信する」が14.7%、「投票所をもっと身近な場所に設ける」が12.6%と続いた。（図IV－26－7）

<参考>

年齢別でみると、「候補者や政党の情報を増やす」は<10歳代>が66.7%で最も高く、次いで<60歳代>が47.4%であった。「投票の制度（期日前投票や入場券の取り扱い等）について、わかりやすく情報を発信する」は<20歳代>が25.0%で最も高く、次いで<80歳以上>が17.2%であった。（図IV－26－8）

職業別でみると、「候補者や政党の情報を増やす」は<農林水産業従事者><学生>がいずれも50.0%で最も高く、次いで<販売・生産・労務職>が43.2%であった。「投票の制度（期日前投票や入場券の取り扱い等）について、わかりやすく情報を発信する」は<その他>を除くと、<学生>が33.3%で最も高く、次いで<パート従事者>が17.2%であった。（図IV－26－8）

家族構成別でみると、「候補者や政党の情報を増やす」は<親と子ども夫婦と孫（三世代世帯）>が44.0%で最も高く、次いで<夫婦のみ（一世代世帯）>が42.6%であった。「投票の制度（期日前投票や入場券の取り扱い等）について、わかりやすく情報を発信する」は<その他>を除くと、<親と子ども夫婦と孫（三世代世帯）>が20.0%で最も高く、次いで<親と未婚の子ども（核家族）>が15.7%であった。（図IV－26－8）

<図Ⅳ－２６－８>年齢別／職業別／家族構成別

